



福島に来て見て感じるスタディツアー

Aコース福島・二本松エリア

Aコース：福島・二本松エリア

～よってがっせ！満腹の島！
フードで風土を楽しむ、はらくっちいツアー～

平成28年8月29日(月)～31日(水)

県内学生：福島大学8名、桜の聖母短期大学13名

首都圏学生：首都大学東京、成城大学、上智大学、
東京家政学院大学、法政大学 計18名

A 福島・二本松

よってがっせ! 満福の島!
フードで風土を楽しむ、
はらくっちいツアー

1 酒蔵見学(二本松市)

福島は全国新酒鑑評会で
4年連続金賞受賞数日本一です

飯坂温泉街歩き



足湯巡り / 名物ラシウム王子

宿泊(飯坂温泉)

2 果物狩り体験

フルーツ王国ふくしま!



2 8/30(火)

前日に続き4つのスタディツアー

昼食

全体会場に集合(宿泊場所: リステル猪苗代)

成果報告に向けた
4コース合同リフレクション



4コース合同交流会、終了後自主ミーティング

3 8/31(水)

裏磐梯五色沼・
磐梯吾妻スカイラインを観光



成果報告会会場(福島市内)到着、昼食

成果報告準備、メディア等への成果報告

解散式(15:00頃終了予定)

首都圏学生解散(19:00頃予定)
【解散場所: 東京駅丸ノ内鍛冶橋駐車場】

【コースの概要】

【得られた学び】

8月29日(月)

- ▼安達ヶ原ふるさと村【二本松市】
- ▼酒蔵見学(奥の松酒造)【二本松市】
- ▼飯坂温泉街歩き【福島市】
- ▼飯坂温泉「ホテル聚楽」【福島市】
- ▼Aコース 夕食交流会

安達ヶ原ふるさと村にて



二本松の郷土料理
「ざくざく」

～安達ヶ原ふるさと村～

～首都圏学生の感想～

- ✓ざくざくが「野菜を食べる」という意味合いからできていることを初めて知った。

～県内学生の感想～

- ✓福島に住んでいながら、普段訪れることのない地域での食を堪能したり、歴史に触れることで運営をする立場でありながら、福島への知識や魅力を多く吸収できた。
- ✓二本松市の室内遊び場での訪問で、以前から外で遊べない子ども達を支援するボランティアに参加していたが、より子どもの遊び場環境に関してまだまだ需要があることを感じた。

奥の松酒造



～奥の松酒造～

～首都圏学生の感想～

- ✓ 酒造では、多種多様で美味しく提供したいという従業員の方々の熱い思いを強く感じた。
- ✓ 年配の方（既存の日本酒ファン）だけでなく、若い方にも日本酒を飲んでもらいたいのだなと知った。

～県内学生の感想～

- ✓ お酒造りには、時間と手間がかかるものであるということ、手作業を重視する点で知った。
- ✓ 全国でも有名ということは知っていたが、実際にお酒造りの工程を見学したことで、より福島のお酒を身近に感じられ、PRポイントになると考えた。

飯坂温泉街歩き



～飯坂温泉街歩き～

～首都圏学生の感想～

- ✓協力者の方の飯坂に対する魅力の説明や、貢献的な姿勢や人柄に、このような方ならまた行きたいと純粋に思えた。
- ✓県内の学生さんとのクイズが楽しかった。

～県内学生の感想～

- ✓観光客が減少しているという現状を知り、「良いところだったな」「また来たいな」と少しでも思ってもらえる街歩きにしたかった。
- ✓街歩きをしながら足湯を実際に体験し、新しい発見があった。

8月30日(火)

▼桃狩り→室内での桃の試食体験【国見町】

▼ホテルリステル猪苗代【猪苗代町】

▼全体リフレクシオン(全コース合同)

▼全体交流会(全コース合同)

国見町 栽培の苦勞



～桃の試食体験～

～首都圏学生の感想～

- ✓ 計画変更に関わらず、さまざまな種類の桃を試食させてくださった農家さんの優しさと配慮に感動した。
- ✓ 地産地消は進んでいるが、県外にもどんどん売っていききたいという気持ちを感じられた。

～県内学生の感想～

- ✓ 国見町役場の方と、桃農家さんとの結びつきから、国見町全体に活力感じた。
- ✓ 農家さんのお話が直に届く形式で、下見の際とは違った面を見つけることができた。

～全体リフレクション～

～首都圏学生の感想～

- ✓ **食を通して福島をアピール**していきたいことから、**桃**を使ったプロジェクトの考案できた。
- ✓ 一番何を伝えたいのか、何をしたら福島の良いさが伝わるのかを深く考えた。

～県内学生の感想～

- ✓ 話し合いを進めていくと、自分が福島について何も知らないなということに気づかされた。
- ✓ 一から何かを企画する、まとめるということがいかに難しいかを改めて実感した。



8月31日(水)

▼裏磐梯五色沼散策【北塩原村】

▼吾妻小富士の登頂【福島市】

▼参加者報告会 (ラコパふくしま)【福島市】

▼解散式

吾妻小富士



参加者報告会



～全体を通して感じたこと～

～首都圏学生の感想～

- ✓ 福島の温かな人柄の方の中にある、PR精神に応えて「また来たい」と「また会いたい」という思いが観光客増加のきっかけに繋がる。
- ✓ ツアーを計画する上でできた、多くの方々との人脈は今後も大切にしたい。

～県内学生の感想～

- ✓ 首都圏の大学生の福島を知ろうする気持ちと、何かしたいという前向きな意見を直接感じ、運営に携われて本当に良かったと思った。
- ✓ 他大学と共同で事業をすることの難しさを知識やコミュニケーションを通して実感した。

～課題～

〈反省点〉 **✓** 情報発信の方法の見直し

自主的なものとして、フリーな情報発信としていたことにより、ツアーを終えてしまったことが発信力を弱めてしまうのではないかと考えた。



今回のツアーで得た情報の発信を個人で行うとして、ツアーの参加者全体として約束事を設けることで、情報発信の統一を図る。

例) 共通のタグ付け、1人辺りの配信のノルマを決める、
写真を使用する etc...

～私たちの考えるプロジェクト～



Our 桃 tree プロジェクト
～桃で福島に人を呼び込もう～

福島の産物

・福島県には、「おいしい産物」がたくさんある

ふくしまイレブンとは
福島県の多彩な農林水産物を代表する
生産量が全国1位の11品目です

きゅうり
気候が適度な浜通りでは、大規模な施設で年間を通して生産しています。会津・中通りでは、甘味がのった完熟トマトを生産しており、品質の良い夏秋トマトとして人気を呼んでいます。(全国9位)

トマト
県内各地で栽培している福島県を代表する野菜です。7~9月が旬で、夏秋期の出荷量は全国1位。新鮮なパリッとした食感とみずみずしさが特徴です。(全国4位)

米
豊かな風土で育った県産米は、食味でも高い評価を受けています。作付けの中心は「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」で、県オリジナル品種「天のつぶ」も生産しています。(全国7位)

福島牛
美しく豊かな自然の中で、生産者の愛情をいっぱいを受けて育った福島牛は、鮮やかな色合いと良質の霜降りをもつ絶品の牛肉です。柔らかい肉質、風味豊かでまろやかな美味しさをぜひ一度ご堪能ください。

地鶏
川原シャモ
会津地鶏
鳥取地鶏
軍鶏をもとに改良した川原シャモは、旨みに優れ、低脂肪低カロリーでヘルシー。会津地鶏は、適度な歯ごたえとコク、旨い肉質が特徴です。

もも
全国生産量の20%を占める福島県の桃。7月上旬の「はつひめ」、8月の「あかつき」、9月の「ゆうづら」と続きます。特に「あかつき」は献上桃としても有名で、とろけるように甘くみずみずしい最高品質の桃は贈答用にも最適です。(全国2位)

なめこ
原木栽培のなめこは、ぬめりが強く歯ごたえがしっかりしており、なめこ本来の美味しさが味わえ、10~11月が旬です。園芸栽培のなめこは福島県が発祥地で、なめこの美味しさを一年中、手軽に楽しむことができます。(全国4位)

アスパラガス
会津地帯を中心に県内各地で生産しています。「ウェルカム」のほか、福島県のオリジナル品種の「ハルキタル」、紫色の「はるむらさきエフ」を生産しています。(全国6位)

りんどう
福島の秋の味覚、日本なし、甘味が強く果汁の多い「幸水」や「豊水」、県オリジナル品種「珍貴」、大玉の「新高」などを生産しています。シャリシャリとした食感と口に残る爽やかな甘さをどうぞご賞味ください。(全国4位)

日本なし
福島の秋の味覚、日本なし、甘味が強く果汁の多い「幸水」や「豊水」、県オリジナル品種「珍貴」、大玉の「新高」などを生産しています。シャリシャリとした食感と口に残る爽やかな甘さをどうぞご賞味ください。(全国4位)

福島の区酒
福島県は全国でも有数のヒラメ産地。黒潮と暖流が交じり合う栄養豊かな海で育まれた原産ヒラメは、食味に優れ、首都圏では「常盤もの」として高く評価されています。

ヒラメ

朝日新聞 DIGITAL

検索 目次

トップニュース スポーツ カルチャー 特集・連載 オピニオン

新着 社会 政治 経済・マネー 国際 テック&サイエンス 環境・エネルギー 地域 朝デジスペシャル

朝日新聞デジタル > 記事

社会 その他・話題 食 福島 有料会員限定記事

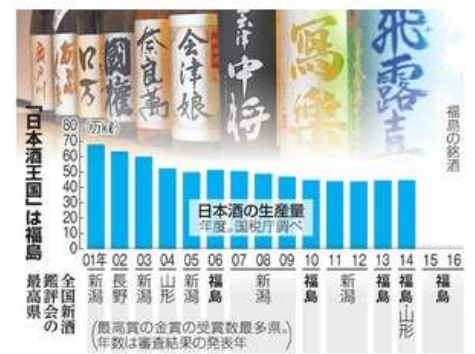
FOOD COOK EAT

福島の日本酒、全国4連覇 「金賞」最多のワケは

岡本進 2016年6月16日 05時01分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷

3029 list 24



いまや「日本酒王国」と言えば、新潟ではなく福島だ。全国新酒鑑評会などで他県を引き離す。強さの理由は？

「『酒は福島』という評価がこれで定着するだろう。5月18日、福島県酒造組合の新城猪之吉会長(65)は手放して喜んだ。

新酒の品質を競う全国新酒鑑評会(酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催)の結果が発表され、特に優秀と認められる金賞(227点)の都道府県別受賞数で福島が18点と4年連続で1位を成し遂げたからだ。

全国新酒鑑評会において、福島県の日本酒が、金賞受賞数4年連続全国1位

<http://www.asahi.com/articles/ASJ615710J61UGTB00C.html> より引用

福島県の推進する11の農林水産物(「ふくしまイレブン」)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/111837.pdf> より引用

特に、桃は・・・

・作付面積・収穫量・出荷量すべてにおいて**全国2位**

消費量は
全国1位！

≪平成27年(2015年) ももの結果樹面積・収穫量・出荷量の都道府県順位(上位5位)≫

順位	結果樹面積		収 穫 量		出 荷 量	
	ha	%	t	%	t	%
1	山 梨	3,220 (33)	山 梨	38,600 (32)	山 梨	36,100 (32)
2	福 島	1,470 (15)	福 島	26,600 (22)	福 島	24,500 (22)
3	長 野	1,050 (11)	長 野	15,900 (13)	長 野	14,600 (13)
4	和 歌 山	767 (8)	和 歌 山	9,360 (8)	和 歌 山	8,610 (8)
5	岡 山	634 (7)	山 形	8,190 (7)	山 形	7,360 (7)

1位 福島県 17.1個/年
2位 長野県 6.6個/年
全国平均 2.2個/年

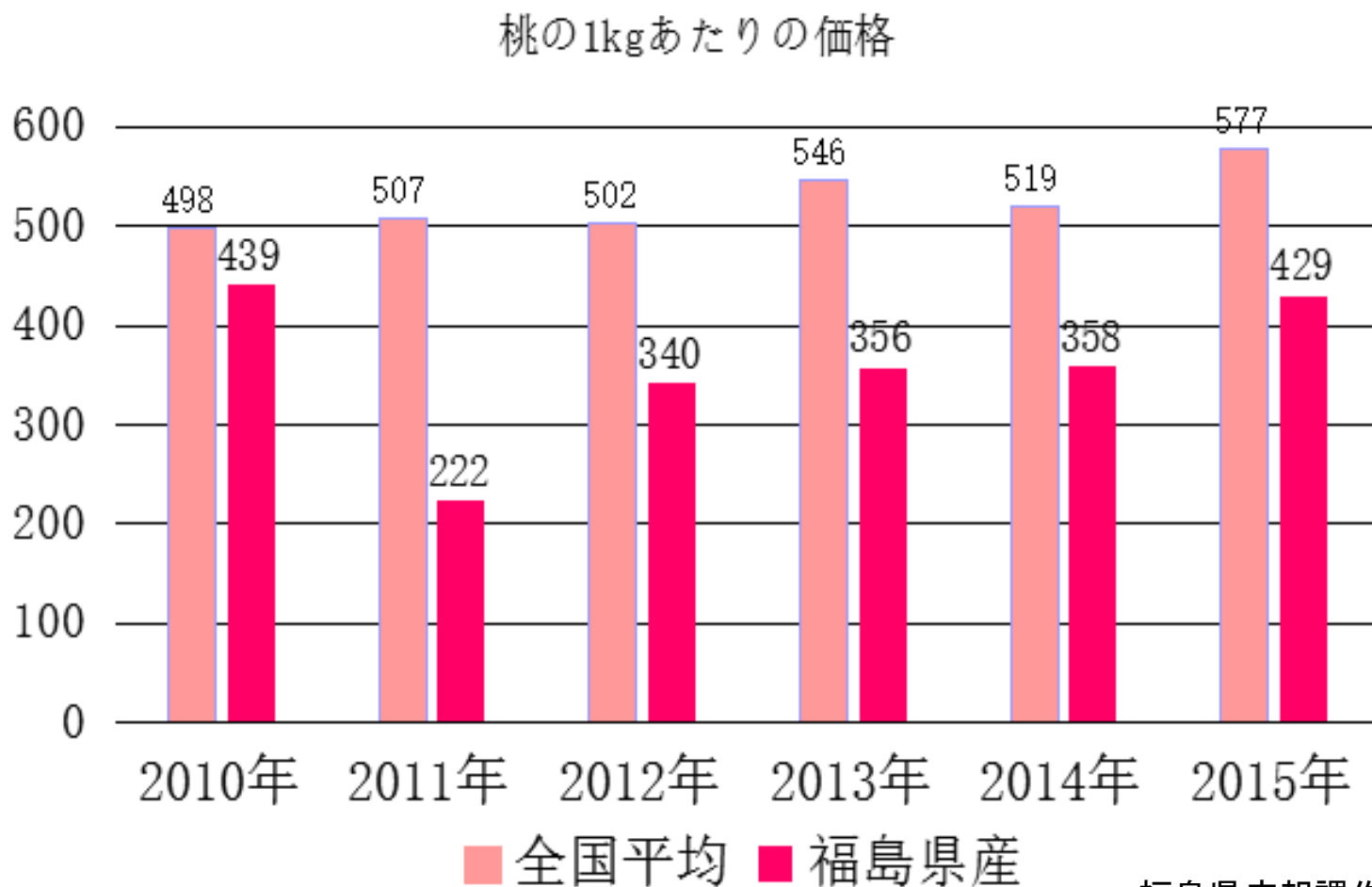
(平成26年(2014年))

()は全国に占める割合である。

農林水産省データ「平成27年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量」より引用

しかし・・・

- ・震災以後、福島県産の桃の価値が下がってしまっている現状
近年は良くなっては来たものの、未だ「風評被害」の影響は大きい



県の取り組み

・県は食品の検査体制を徹底し、安全なもののみを流通させている



《県産農水産物のモニタリング等情報(平成27年4月～平成28年3月)》

種別	検査数	基準値超過数	超過数割合
玄米	約1,048万件	0件	0.00%
野菜・果実	4,585件	0件	0.00%
畜産物	4,562件	0件	0.00%
栽培キノコ	758件	0件	0.00%
山菜・野生キノコ	804件	7件	0.87%
水産物	9,215件	7件	0.08%

福島県広報課作成「ふくしまの"今"」p12を基に作成

実際の声は・・・？

・スタディーツアー2日目のグループワークでは・・・

◎県産物の安全をアピールする場が、「東京」に依存している印象

(例)物産展、アンテナショップ・・・

◎東京の人は関心を持つかもしれないが、例えば都内のアンテナショップは既に飽和状態であり、風化したら関心自体も薄れていくのでは？

(例)日本で相次ぐ震災・・・熊本アンテナショップの事例も

→観光客と定住者を増やせるような施策を考えたらどうか？(着地型の発想)

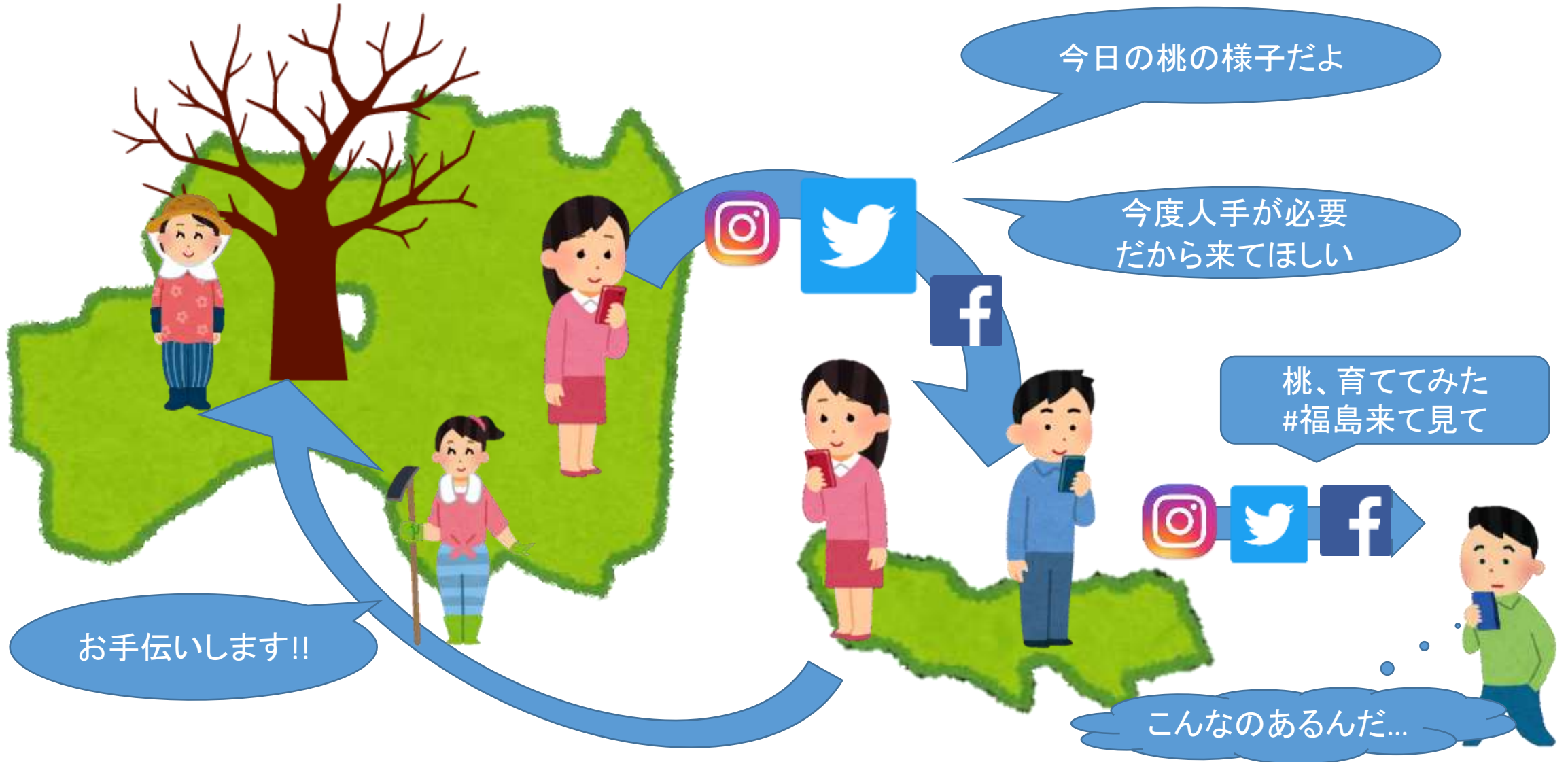
①桃の木の管理&プロジェクトの発信をしよう

1) 桃の木を農家の方と管理、栽培の様子を首都圏学生へ発信、首都圏学生へ手伝いを要請 By 県内学生

2) 桃の木の栽培を手伝いに福島を訪れる By 首都圏学生

3) プロジェクトの様子を、プロジェクトに参加していない首都圏学生にSNS上で発信 By 首都圏学生

①桃の木の管理&プロジェクトの発信をしよう



②観光も楽しもう

By 県内学生、首都圏学生

桃を育てるには時間がかかる。何度も福島を訪れるのに、桃の栽培だけじゃもったいない → **春夏秋冬の福島を観光しよう**



②観光も楽しもう

By県内学生、首都圏学生

観光を楽しんだ後は・・・



③桃の販売を経験しよう By 県内学生、首都圏学生

- 1) 収穫した桃を、東京以外の主要都市（仙台など）で販売してみる
- 2) 自ら経営するという、普段なかなかできない経験が出来る
- 3) 自らのスキルアップにつながる



④これまでの流れをSNSでつながっていない人にも発信しよう

By首都圏学生

- 1)これまで行ってきた内容(栽培、観光、販売)を大学祭などで発表する
- 2)プロジェクトに参加した学生とSNS上でつながっていない人々にもプロジェクトの魅力を発信できる
- 3)プロジェクトに参加する人のさらなる増加につながる



Our 桃 tree プロジェクト

#福島来て見て



福島行ってえ～

観光してえ～

スキルアップしてえ～

桃喰いてえ～

参加しようかな...!!

⑤プロジェクトを持続可能なものにしよう

- 1)「③桃の販売を経験しよう」で得られた収入を次年度へ引き継ぐ
- 2)管理する桃の木の増加や、福島のほかの農産物を共同保有して新しい「Our ○○ tree」をつくる
- 3)最終的には桃のみならず福島の様々な魅力を更に発信できるようにする

⑤プロジェクトを持続可能なものにしよう



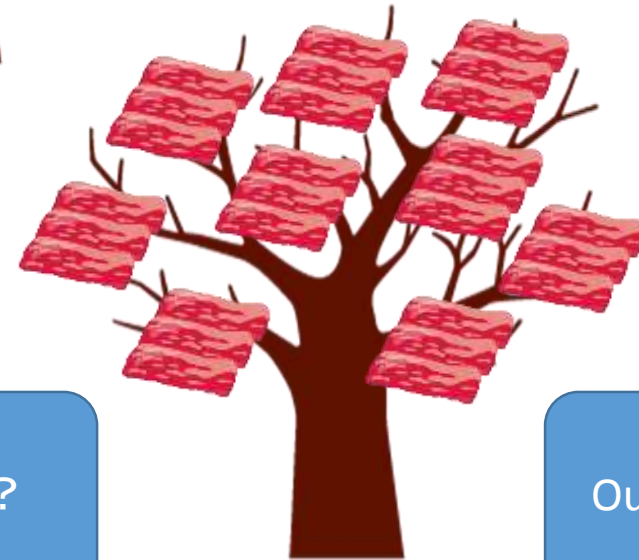
Our リンゴ tree



Our ブドウ tree



Our 鯉 tree ?



Our 牛肉 tree ?

～各個人が行った福島発信～

twitterでの発信！
いいね数8件

facebookにて活動報告の転載
1いいね



ツアーの様子(英語併記)
11いいね!

#ふくしま来て見て
Facebook初投稿です。
結構前ですが、8月に福島に行ってきました。スタディツアーということで、東京都の学生が福島を訪れ福島の魅力を学んできました。結論から言うと、みんな福島に来てほしいです。

福島は、酒処。日本酒の酒蔵が多く、品評会で金賞を受賞した酒蔵の数が二年連続日本一という栄冠に輝いております。酒造りに最適な米、良質な水、匠の技で福島は日本を代表する酒処となっております。

福島は、桃処。全国的に桃の産地として有名な福島は様々な種類の桃を有し、歯ごたえがあるのに糖度の高い独特な味わい。癖になります。

2011年3月11日以来、福島の人たちは風評被害に逢ってしまいました。実際ほとんどの食品の放射性セシウムは基準値以下となっているにも関わらず風評被害は未だ少なからず存在しております。風評被害をなくすためには、県外の人々が実際に福島を訪れ、福島の魅力を知り、魅力を発信していくことが最良であります。ということでもし皆さん機会があれば、福島に行ってほしいなあと思います(^^)。

Long time no see, everyone. This is my first post of Facebook, and I'll write about my "Study Tour".
In this August, I visited Fukushima. Students including me from Tokyo visited Fukushima and learned some attractions of there. The thing I want to say is that I want everyone to come to Fukushima.
Fukushima is famous as a peach-growing area in Japan. The peach of Fukushima is a little hard but its tastes terrific.
Fukushima is also famous as sake area. There are many sake makers in Fukushima, and the quality of them are very high. In fact, the most prefectures which got gold award in Japan is Fukushima.
As you can see, on March 11th, 2011, there was a severe earthquake in Japan. Because of the earthquake, a nuclear power plant at Fukushima was broken and a radiation accident was happened. Now, almost all foods made in Fukushima are really safe, but some harmful rumors still remains. To decrease those rumors, the best thing we can is visiting Fukushima and knowing the attractions of them.
If you have time, you should come to Fukushima, and eat or see nice things of them. If possible, I want you to share the "true" information of Fukushima in SNS.)

いいね! コメントする シェアする

Masato Inayaさん、大場 美里さん、他7人

facebookのプロフィール画像を
桃の木プロジェクトのポスターに
16いいね!

プロフィール写真を変更しました。
昨日 11:48

いいね! コメントする シェアする

Masato Inayaさん、玉川 みずえさん、他14人

研究室の活動報告の様子。

福島スタディツアー 報告：西村圭太

記事作成日：2016.9.08

2016年8月29日～31日に、吉岡、西村、杉本先生で「**ふくしまに来て、見て、感じるスタディツアー**」に参加し、福島・二本松エリアを観光しながら福島の美味しいものを食べまわりました。

まず地酒工場にて地酒の試飲。福島は18銘柄の日本酒が品評会で金賞を取る日本一の日本酒の産地です。のどごし滑らかで飲みやすい印象です。続いては桃の食べ比べ。6種類の桃を食べました。個人的に一番好きな桃は「玉うさぎ」。歯ごたえがあるのに甘いという不思議な桃でした。名前もかわいい(笑)。お昼ご飯は福島産野菜を使った郷土料理「ざくざく」やBBQを堪能しました。「ざくざく」は作れそうなので今度作ってみます。

食べるのみならず観光もしました。松尾芭蕉も訪れた飯坂温泉に入浴したり、五色沼や磐梯山ジオパークの雄大な景色を眺めたりして気分爽快になりました。

最終日にはツアーのまとめとして、**福島の魅力の持続可能な発信方法**を企画・発表しました。簡易版PBLのようなものです。専門の異なる福島県の学生と一緒に魅力の発信方法を考えるのは中々刺激的で、「そんな視点・手法もあるのか〜」と勉強になりました！

知らなかった福島の魅力を知り、現地学生との交流も深まる充実した三日間でした！参加して良かったです！



福島、とても良いところだったので、是非行ってあげてください👤👤👤 #ふくしま来て見て



7
いいね

18:01 - 2016年8月31日

📍 福島 福島市

👤 🔄 ❤️ 7 ...

画像付きツイート
いいね数7
インプレッション(ユーザーが閲覧した回数)444
エンゲージメント数(画像の拡大など反応した回数)は179





インスタグラムでの発信！
投稿回数5回
いいね数計100回
コメント数3回



色々試
飲んでみて、飲みやすく美味しかったです！
#酒蔵見学#奥の松酒造#福島県#二本松#スタディツアー#
日本酒#ふくしま来て見て



の鯉を見つけました！
。ハート

さらに大学ホームページにも掲載



インスタグラムでの発信
5枚投稿
計282いいね！
合計コメント数7
海外の方からもコメントが！

方々のおかげで
福島が大好きになりました！！
また福島を堪能しに行きたいと思いました😊💕

#ふくしま来て見て



Toru Niheiさん、他21人

シェア2件



サークルのTwitterやfacebookで発信
サークル内でAコースとDコースに分かれたので、
福島の魅力を多方面から発信できた。



飯坂八幡神社 >



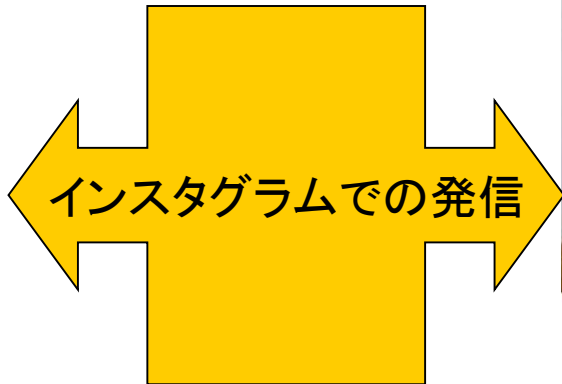
他46人

福島県内の学生が企画したツアーに参加して福島の魅力を感じてきます😊そしてまさかの再会！そっくりさんかと思った！😂笑

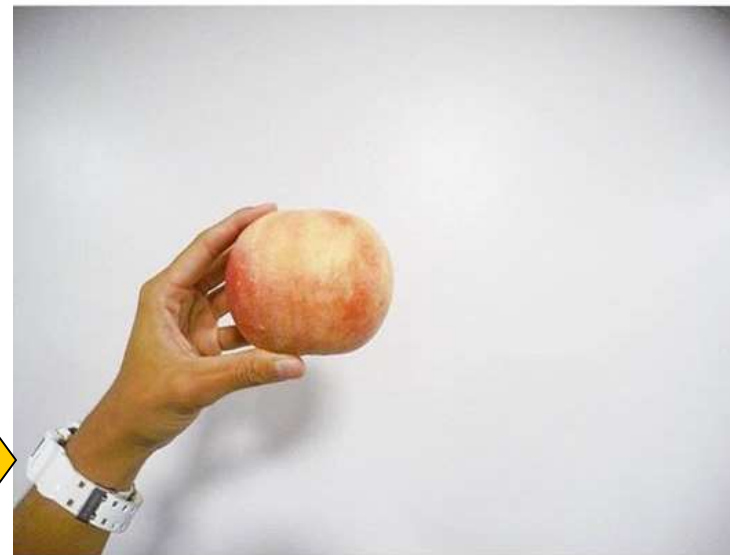
#ふくしま来て見て
#スタディーツアー
#福島 #けんか祭り
#ゴープロのある生活
#gopro #goprojp #hero4
#ワクワクをカタチに



2016/12/15



国見町役場 >



他47人

！は桃農家のお二人からお話を聞きました。激アツなマインドを持った若いお二人に刺激をもらいました！そして福島の桃は美味しかったです🍑✨

#ふくしま来て見て
#スタディーツアー
シリーズ
#川中島白桃
のある生活
goprojp #hero4
たまたまに



多数のいいね！
タグ付けを増やすことで
外部の人からも見られ
やすくなりました！



五色沼 >



他47人

余韻に浸ってます。今日は天気が良かったからお気に入りの写真がたくさん！
 #ふくしま来て見て
 #スタディーツアー
 #福島 #五色沼
 #ゴープロのある生活
 #gopro #goprojp #hero4
 #ワクワクをカタチに

9月1日



2016/12/15



ホテルリステル猪苗代 >



、他58人

「これも福島の魅力のひとつなのでは?? 😊🌟」

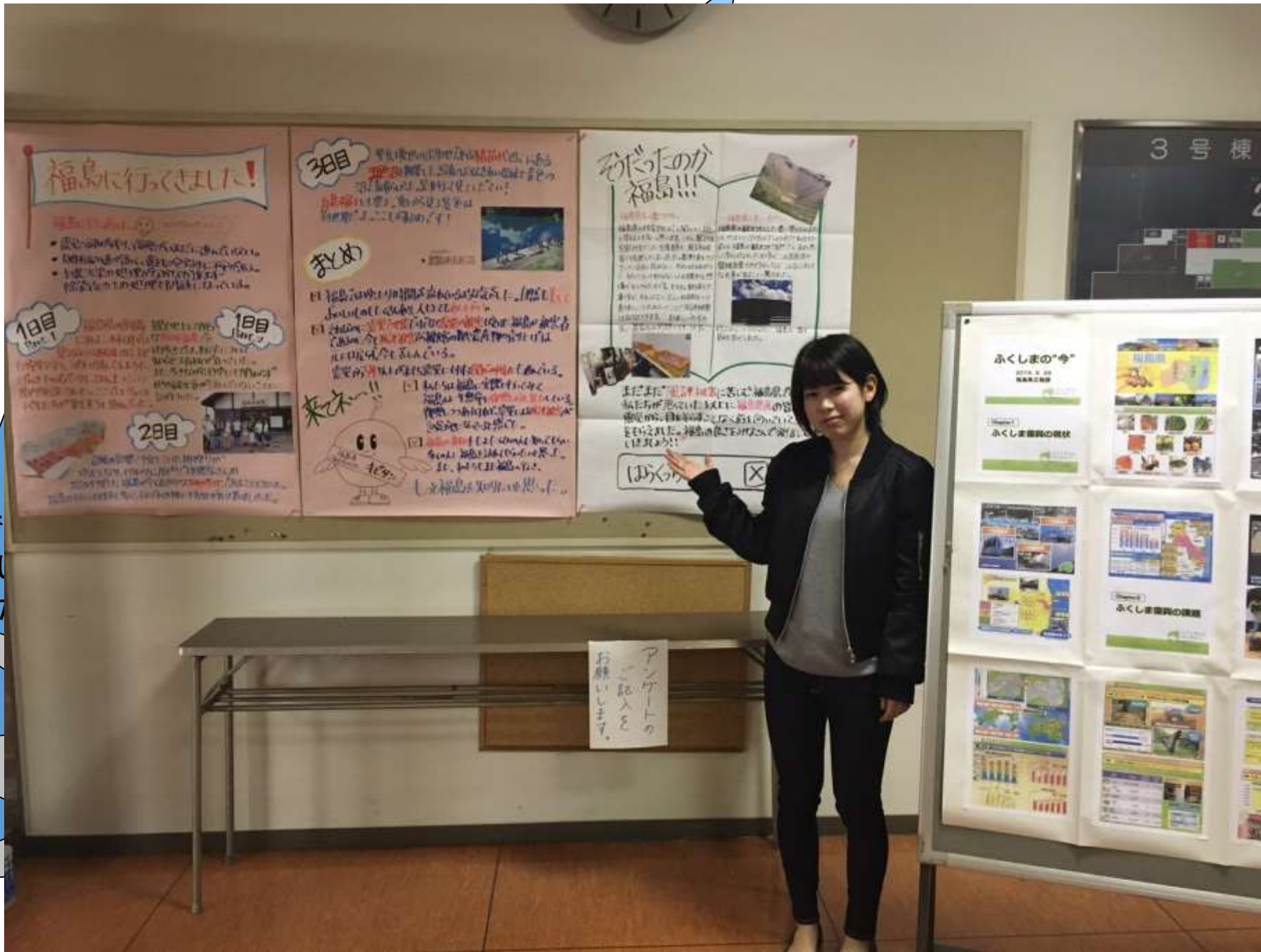
#ふくしま来て見て
 #スタディーツアー
 #福島 #夜空
 #綺麗
 #実況 #ゴープロ
 #ゴープロのある生活
 #gopro #goprojp #hero4
 #ワクワクをカタチに



魅力的な写真選びも重要！

所属サークルで
facebookではいい
「私も行ってみたい
また、世代の違う

2016/12/15



6件
9回

～まとめ～

私たち大学生が身近に福島を発信できるツールはSNS
都会などでは体験できない伝統・景色といった福島の魅力を紹介することは重要

しかし・・・

SNSだけでは一時的なものになってしまわないだろうか・・・？

継続的に発信していくためには、更なる**ACTION**が必要ではないだろうか？

例えば、

先に挙げた「our 桃 tree プロジェクト」以外にも、

「大学の学食で福島のくだものをデザートに取り入れる機会を作ってもらう」や、

「ゼミやサークルの友人と実際に福島県へ旅行に行き福島県の魅力を感じてもらう」

といった身近にできそうな行動で、

「**経験価値**」として、魅力ある福島を第三者にも情報としてだけでなく肌で感じてもらう機会を与えられる。

こういった**ACTION**によって福島のファンを増やすことで、

福島の魅力の発信者の数も増えてくるのではないだろうか？

その結果として、

「新しい福島ファンの発信が、さらに新しい福島ファンを生み出すサイクル」

ができれば

「持続可能な福島発信」

となるのではないだろうか。

最終目標としては

「福島＝原発・震災」

ではなく

「福島＝活気のある県」

と認識されるよう、内外から継続的に発信することが重要

～ご清聴ありがとうございました～